

幼稚園児が描いた絵がパンになりました！

園児が描いたパン 商品化

浜松・杏林堂薬局が販売開始

杏林堂薬局（浜松市中区）は1日、県内の幼児から募集した絵を基にパン2種類を商品化し、販売を始めた。東区の本薬局和田店など手作りパン工房ナチュールのある県内の同薬局9店舗で取り扱う。販売は3月末までの予定。



子どものアイデアを基にしたパン商品
|| 浜松市東区の杏林堂薬局和田店

昨年9月に「食べたパン」をテーマに、LPガス販売のエネジ（中区）と協力して市内の私立幼稚園を中心に絵を募った。

応募作品142点の中から商品化されたのは、鴨江幼稚園の小山陽太ちゃん（4）が考えた「ぐるぐるりんごパン」と、北浜幼稚園の太田悠希羽ちゃん（6）が考えた「ふわふわキャンディーパン」。価格はいずれも100円（税抜き）。

独創的な発想

りんごやキャンディー

りんごパンはりんごとレーズンをのせた丸形の生地、りんごのへたに見立てた棒状の菓子を添えた。キャンディーパンは串に刺さった円盤形のキャンディーのようにパンの形を整え、チョコレートを塗った。いずれも子どもらしい独創的な発想が評価された。

子どもからパンのアイデアを募る取り組みは2回目。杏林堂薬局ドラッグストア営業本部の中野皓司さん（37）は「アイデアを商品にして多くの人を喜ばせる楽しさを子どもに体感してもらいたい」と狙いを話した。
(浜松総局・柿田史雄)

「食べたいパン」をテーマに静岡県内の幼児から絵を募集！

応募作品142点の中から2作品がパンになって登場します。

「ぐるぐるりんごパン」と「ふわふわキャンディーパン」は、杏林堂薬局内の手作りパン工房ナチュールでの販売です。

自分が描いた絵がパンになる体験が食育にもつながり、子育て世帯にも好評！今後も地域の企業と地域が元気になる取り組みを継続していきます！

令和2年(2020年)2月2日(日)

静岡新聞掲載